

社会福祉法人 春献美会

はるひのだより

NO.151

令和2年10月1日発行

10月

はるひ野保育園

長く続いた雨がやっとあがり、秋の気持ち良い風と日差しが感じられるようになりました。「新しい生活様式」の提案がなされて、数か月が経ちました。保育園も色々なことに戸惑いつつ、制約の中で充実した毎日が送れる方法を模索しています。長いトンネルに入ったかのような時が続いていますが、楽しいことを懸命に探していく子どもたちと先生たちの逞しさを見てみると、ウイルスに打ち勝つのは、こうした力なのかも知れないと思います。例年のような運動会は出来ませんが、今できる最高の運動会にしていく努力をしなくてはと身が引き締まる思いです。

今月の予定

- 2日(金) 避難訓練(地震・火災想定)
- 20日(火) 園医健康診断(4・5歳児)
- 31日(土) 第13回 運動会



※運動会についての詳細は、おたよりをご覧ください。

10月生まれのおともだち紹介

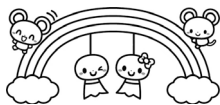
おたんじょうび おめでとう♪



「園ぴゅう太」の受信は出来ましたか？

9月16日(水)に「園ぴゅう太」のテスト配信を行いました。受信出来ましたでしょうか？運動会の中止、延期、雨天時開催は「園ぴゅう太」にてお知らせいたします。受信設定をお願いします。以前登録していただいたアドレスを変更して、新しいアドレスに登録していない方は再登録して頂きます。至急、お申し出ください。

また、一昨年の運動会で延期した際に、メールが開封させない家庭も意外に多く、問い合わせ対応に追われました。当日の朝は“前日から2日続けて文句なしの快晴、園庭コンディション最高”以外は、メールの確認をしてください。



お知らせ

〇8月に保育実習にきていた大学生が、保育補助として着任いたしました。
〇病休をとらせていただいていた栄養士は、契約を終了しました。

例え with コロナでも心を育てる保育をしていきたい…

このところ、新型コロナウイルス感染症だけでなくSNSの誹謗中傷や自殺といった暗いニュースが、毎日のように報道されています。はるひ野保育園に通う園児たちとは遠い世界の話として考えているには、不安になることが多すぎます。

子どもたちに対して、大人は「仲良くしているのだろうか」「友だちとうまく関わっているのだろうか」ということは、とても気になります。また、いじめられているのではないだろうかということも心配でしょう。不思議なことに「いじめているのでは」という相談は、まず受けませんが。

幼児期の子どもにとって「相手の気持ちを考える」のは、とても難しいことです。本当にわかるのは8歳くらいと言われています。まずは、自分の気持ちや考え、困っている事、助けて欲しいことを伝えるということが大切です。自分中心に考えて伝えるわけですから、子ども同士なら当然トラブルが生まれます。トラブルを経験するからこそ、どうすれば伝わるのか、わかり合うにはどうするべきかを考えていきます。時々、「てめえ、ふざけんな」「いい加減にしろ」「許さねえからな」というような、どこで覚えたのか聞くに堪えられないような言葉と声で怒りを表す子もいます。考えが違うということに気が付いたのは成長の一つですが、こうした言葉は聞く方の心に刺さりまします。刺したこと、刺さったことに平気であるような麻痺した感覚では困ります。子どもですから間違えることはあります。その時に、「大事なあなたが、そんな風に言われたら耐えられない。心にナイフのような言葉で刺せば傷つく」ということを他人任せにせず、教えていこうと思っています。

たくさん受けた愛情を自信に、友だちとぶつかったり仲直りしたり…。豊かな子ども時代を過ごし、て貰えるよう保育していきたいです。